

大阪歯科大学 兵庫県同窓会報

昭和 62 年 12 月 1 日
No. 4 3

発行所 大阪歯科大学兵庫県同窓会
神戸市中央区山本通 5 丁目 7-18
電話 (078) 351-4181
編集発行人 志 築 照 和



あ い さ つ

大阪歯科大学兵庫県同窓会長

村 井 俊 郎

歯科医療は社会経済への密接度が強いということが特性の一つですが、円高不況などによる経済の不活性が歯科医院経営に与えたインパクトは大きいものがあります。

しかし、これからの長寿社会の中で歯科医療が果たす役割りがきわめて大きいことも事実です。

すでに社会の有識層は21世紀への道程と更に将来への展望の中で歯科医療の使命が益々加重されて行くことについて指摘をしています。

だが、この期待の中には量もさることながら質への転換が求められていることも事実です。

たゆみなく進歩する歯学の成果を社会に還元するのは臨床に携わる歯科医師の最大の目標であり、歯科医師の社会的地位の向上と経済的地位の確保もこれらの努力によって得られるものであります。

兵庫県同窓会は1,500名の会員を擁していますが、私達は同窓会本部と密接な連携を保ち母校の発展と会員の相互親睦をはかりながら、母校の学問的基盤によって歯科医学の研修につとめ質の高い歯科医療を患者さんに提供して行く姿勢を続けたいと思います。

会員の先生方の一層のご支援とご協力をお願い致します。

＝ も く じ ＝

あ い さ つ	大阪歯科大学兵庫県同窓会長	1
62年度大歯大兵庫県同窓会総会		2
第33回大阪歯科大学兵庫県同窓会会員大会		4
昭和62年度第1回大阪歯科大学兵庫県同窓会役員会		8

62年度大歯大兵庫県同窓会総会

61年度決算、会則の一部改正を審議

4人の学位受領者を表彰

昭和62年度第1回大阪歯科大学兵庫県同窓会は、6月28日(日)午後1時30分から兵歯会館5階講堂で開催され、昭和61年度決算、会則の一部改正の2議案を満場一致で可決した。

総会は志築専務の司会により、塩見副会長が閉会のことばを述べた後、塩見副会長を議長に選出、議事録署名人に、中森(明石)、保井(姫路)両氏を指名した後、村井会長が母校大阪歯科大学の経理状況にふれたあいさつを行った後学位受領者の表彰が行われた。学位受領者は以下の4先生である。

〔学位受領者〕

浜野正和(大19)北 区 入船忠夫(大21)東灘区
山口省三(大13)西宮市 柿本和俊(大30)灘 区
つづいて物故会員に対し弔意黙祷を行った。
昨年度の物故会員は、以下の16名の先生方である。

〔物故会員〕

氏名	地区	卒回	年齢	死亡年月日
伊藤 実	尼崎市	専27	62歳	S 61. 4. 3
安達久市郎	兵庫区	専16	71歳	S 61. 5. 5
福崎 友之	西宮市	専15	74歳	S 61. 5. 12
小野 俊吉	灘 区	専26	64歳	S 61. 5. 22
浜田 幸豊	西宮市	専25	63歳	S 61. 6. 26
林 善作	宝塚市	専18	74歳	S 61. 6. 28
島谷 嶋一	中央区	京城	78歳	S 61. 7. 30
巖 正男	揖 竜	厚修	69歳	S 61. 8. 23
宮本 正	長田区	専25	63歳	S 61. 9. 26
栗林 季高	加東郡	専11	78歳	S 61. 10. 21
中川 秀夫	西宮市	専16	78歳	S 61. 10. 22
吉田 豊作	西脇市	専20	70歳	S 61. 12. 3
谷 弘	川西市	専15	75歳	S 62. 2. 9
山本 鍊吉	東灘区	専15	76歳	S 62. 3. 12
古川 鉄美	尼崎市	医	76歳	S 62. 4. 7
原 勝弘	姫路市	大 8	53歳	S 62. 5. 18

〔報告〕

会務報告(志築専務)、会計報告(河合常任)、本部報告(志築専務)があった後、議事に入った。



あいさつする村井会長

〔議事〕

第1号議案 大阪歯科大学兵庫県同窓会会則の一部改正について

- 第18条の次に第6章会計を入れる
- 第20条の次に第20条の1を加える
- 第20条の1 前条に規定する会費について大阪歯科大学同窓会会則第28条ただし書に該当する場合、役員会の議を経て会費を免除することができる

○この会則は昭和62年4月1日より施行する

〔注〕新旧対照表参照のこと

新旧対照表

	旧	新
第18条	会議の議長は会長が当たる。会長事故ある時は副会長が代行する。	第18条 同文 第6章 会計
第20条	この会の経費は会費・寄付金その他の収入をもってあてる。	第20条 同文 1. 前条に規定する会費について大阪歯科大学同窓会会則第28条ただし書に該当する場合、役員会の議を経て会費を免除することができる。
	第6章 賞罰 第7賞 慶弔	第7章 賞罰 第8章 慶弔

第2号議案 昭和61年収入支出決算の承認を求める件(別紙参照)

第1号議案は志築専務理事より、第2号議事は河合常任理事より提案説明、和田監事より監査報告があった後、全員賛成の挙手で可決した。つづいて8月1日(土)神戸ポートピアホテルで開催される会員大会について協議した後、伊藤副会長の閉会のことばで終了した。

昭和61年度大阪歯科大学兵庫県同窓会収入支出決算書

収 入 額 19,227,030円
 支 出 額 16,161,726円
 差 引 剰 余 金 3,065,304円

収入の部

科 目	昭和61年度 決 算 額	昭和61年度 予 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 会 費	16,834,000	17,160,000		326,000	
第1項 会 費	16,834,000	17,160,000		326,000	
第二款 雑 収 入	1,452,008	1,501,000		48,992	
第1項 雑 入	20,008	70,000		49,992	預金利子
第2項 寄 付 金	0	1,000		1,000	
第3項 本部手数料	1,432,000	1,430,000	2,000		
第三款 繰 越 金	941,022	941,022		0	
第1項 繰 越 金	941,022	941,022		0	
合 計	19,227,030	19,602,022		374,992	

支出の部

科 目	昭和61年度 決 算 額	昭和61年度 予 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 事 務 費	5,127,837	5,900,000		772,163	
第1項 事 務 費	2,825,000	3,000,000		175,000	
第2項 旅 費	1,120,930	1,600,000		479,070	
第3項 通信印刷費	669,165	800,000		130,835	
第4項 消耗品費	310,542	300,000	10,542		事務用品
第5項 雑 費	202,200	200,000	2,200		
第二款 会 議 費	3,344,670	3,700,000		355,330	
第1項 会 議 費	3,344,670	3,700,000		355,330	
第三款 事 業 費	7,689,219	9,120,000		1,430,781	
第1項 学 術 費	496,140	640,000		143,860	
第2項 広報宣伝費	135,000	200,000		65,000	会報発行
第3項 福祉厚生費	2,112,599	3,500,000		1,387,401	
第4項 表彰慶弔費	963,400	780,000	183,400		
第5項 諸見舞金	1,080,000	1,000,000	80,000		傷病見舞金54名
第6項 渉 外 費	2,902,080	3,000,000		97,920	
第四款 予 備 費	0	882,022		882,022	
第1項 予 備 費	0	882,022		882,022	
合 計	16,161,726	19,602,022		3,440,296	

第33回大阪歯科大学兵庫県同窓会会員大会

過去最高の参加者で盛り上がり

新入・新卒を歓迎

—昭和62年8月1日(土)

—神戸ポートピアホテル—

第33回大阪歯科大学兵庫県同窓会の会員大会並びに新入・新卒歓迎会は、8月1日(土)午後2時から神戸ポートピアホテル「和楽の間」で開かれた。今回は尼崎分会の当番で、過去最高の参加者数で盛り上がり、文化講演会では、朝日新聞大阪本社編集局長、奥尾幸一氏を招いて「最近の世相診断」と題した講演があった。

懇親会では、母校軽音楽部のアトラクションをバックに、ラッキーカードの抽選など、大いに楽しんだが、今回村井会長の発案で、クラス会別にテーブルを設定したことも好評の一つとなった。

会は志築専務が司会し、松本副会長の開会のことばで始められ、まず村井会長があいさつした。

(村井会長あいさつ要旨)

わが母校、大阪歯科大学は現在1万名の同窓を有し、うち兵庫県は1,500名の仲間が健在である。兵庫県同窓会は同窓会本部と緊密な連絡を保ち、母校の発展を助け、会員の福祉と相互の親睦を図るとともに歯科医学の研修につとめることを目的として今日まで活動を行ってきた。

現在、医療界そして歯科界は高齢化社会への歩みの中で、きわめて厳しい環境下にある。

しかし、私たちは歯科医師という尊い価値ある職業を目指して、母校で勉強して得た知識と技量を社会のために役立てなくてはという精神は決して後退することはない。



あいさつする村井会長

やがてあと13年で21世紀を迎える今、新しい世紀はもう手の届くところまで来ている。そして、それは確実に超長寿社会でもある。

歯科医療はますますその役割を發揮し、社会はますますその価値を評価する時代である。

このような時代に対処するため、私たちは一層親睦と団結を図り、皆で力を合わせて幾多の困難な課題を克服して行きたい。

本日開催した会員大会は県下の同窓が一同に会し、親睦と団結を図る絶好の機会である。

新卒業生の皆さんも新入会員のかたがたも、このさわやかな雰囲気をご覧いただき、皆で今日一日を楽しもうではありませんか。

中塚常任理事の来賓紹介に続き、来賓祝辞では奥野同窓会長が「きょうは新卒業生の方々も来ているが、私が卒業式に述べたアンダンテをやっていることだと思う。アンダンテなくして歯科界の存在はない。十分に理解して欲しい。

いま世界中でどういうことが問題になり、日

本がどういう位置に在るかということを書いてみたい。いまや『Japan as Number One』ではなく『What is Japan』といわれる時代である。」と例によって分野に拘らないスケールの大きな話があり、北川理事長は「母校は明日の栄光を求めながら、静かではあるが、除々に改革の方向に向かっている。私の好きなことばに『青春とは人生の一時期だけではない、心の持ちかたが青春である。人は理想を失ったときに老いるのだ』（サミュエル・ウエルマン—青春とは何か—）がある。私はいま大学の理想のため、はげしく燃えている。競争と協調はいつの時代でも必要なことだ。」と母校発展への力強いことばを、続いて森学長は「歯科医業はアートであり、心のこもった診療が患者に受け入れられ、これが歯科医自身の心を豊かにするものであり、人間が生きるうえの原点である。21世紀は心の時代であるといわれる。情報過多の時代こそ人間の原点に立ち返り、心を大切にしていきたい。」と静かな口調ながら感銘深い祝辞を述べた。

さらに、近府県同窓会を代表して奥野大阪府歯会長、県下各大学同窓会を代表して片野城西歯大副会長がそれぞれ祝辞を述べた。

新入会員、新卒業生紹介があり、村井会長より記念品の贈呈があり、代表して佐竹茂樹君が謝辞を述べた。当分会の歓迎のあいさつ、次期当番神戸分会会長あいさつがあって、祝電披露が続ぎ、全員起立して学歌斉唱をし、塩見副会長の閉会のことばで無事セレモニーを終了した。

引き続き同会場で文化講演会が開かれた。

朝日新聞大阪本社編集局長、奥尾幸一氏を講師に迎え、「最近の世相診断」と題して、氏の経験その他から演繹（エンエキ）された日本の国、日本人の国際化ということに焦点を絞り、新聞記者としての豊富な経験の中から、印象的なエピソードを交えての講演があった。

「最近の世相診断」講演要旨

○20年前、サイゴン支局在任中、ベトナム戦争下での出来事で、友人記者の死を目前にし

て、人生、人間社会にはどうしょうもない「運」という存在があると実感した。

○日本の国際化と国際化時代の到来とは。ある種のロマンチックな響きで、獲得するもののみ期待し、決して失うもの、責任を負うものを感じないものと受け止めていたが、果たしてそれでよいだろうか。

○日本人の考える国際人と世界の人が考える国際人との違い。

日本人の持つ民族の特性が国際人たることを困難にさせている。日本国民は国際情勢に対する認識の幼稚さ、甘さからそろそろ脱脚すべき時期である。

諸外国（先進国といわれる）が異邦人を受け入れている現状を見るにつけ、日本だけが例外であってよいはずがない。貿易黒字が当然だとして、輸入に対する門戸を開かないでは国際的な評価を受けることはできない。

○外国人の日本評について。

「日本は世界一の秘境だ」と称されている。また「日本ほど情緒のあふれている国はない」ともいわれる。便利さを追求するがために、大切なものを忘れていたのではないか。日本の社会は一つのグループを作って成り立つ社会かも知れない。

日本人は自分たち自身でかなりの力と自信を持っているものだから、stand point を離れて、もっと広い視野で自分たちを見つめてみよう、日本を見てみようとする気持を忘れていた。本当の意味での日本の開国といったことをじっくりと考える必要がある。

○結論的に……。

日本は地球上で最も変わった国であるということかも知れません。

しかし、いまや日本の産業が世界の貿易を左右するよな力を持つようになっている。

それならば、米国やヨーロッパ諸国が世界に対して負っている税金を日本も背負うべきでないか、と外から迫られているのです。

どんな国にも文化の特殊性はある。日本だけが例外ではない。

日本が貿易国として、今後も存在していくに

は、外国が世界に対して負っているだけの税金を日本も背負うべきである。日本だけが甘い汁を吸って世界の大国になったことを、諸外国が認めなくなってきた。

いまこそ苦い汁（税金）を諸外国に支払う時にきている。それが日本の将来の存亡にかかわることである。

ご静聴ありがとうございました。

懇親会は場所を「借楽の間」に移し、久保分会専務の司会、小林実行副委員長の開宴のことで始められ、多和城西歯大学長の乾杯の音頭で宴の花開き、アトラクション出演の母校軽音楽部の軽快な演奏と歌が会場の雰囲気盛り上げた。

各テーブルはクラス別の配置のためか、一層の歓談が深まり、ラッキカードの抽選など楽しい時を過ごし、最後に天方実行副委員長の閉宴のことばでお開きとなった。

来賓御芳名

(大学関係)

大歯大	理事長	北川	正夫
大歯大	学長	森	政和一
城西歯科大	学長	多和	敏一

(本部関係)

会	長	奥野	半蔵
副会	長	奥野	喜一
々		筒井	正弘
々		森本	太郎
専務理事		渡部	潔

(近府県支部)

大阪府同窓会	長	奥野	喜一
滋賀県同窓会	長	川村	輝雄
奈良県同窓会	長	花岡	繁一
和歌山県同窓会	長	久保	昌弘
岡山県同窓会	長	森本	太郎
京都府同窓会	副会長	鈴木	能弘

(日歯関係)

常務理事	大浦	波夫
監事	津島	大麓
政連副会長	磯島	吉之祐

(県下各同窓会校友会関係)

東京歯科大	会長	林	幹雄
日本歯科大	会長	池端	邦夫
日本大学歯学部	会長	後藤	昭夫
東京医科歯科大	会長	山口	唯夫
九州歯科大	会長	田中	務宏
京城歯科大	会長	中田	石雄
大阪大学歯学部	会長	村田	利俊
愛知学院大歯学部	会長	登利	多進
神奈川歯科大	会長	佐多	野清
城西歯科大	副会長	片野	花樹
朝日歯科大	会長	謝花	幹満
松本歯科大	会長	宮内	古喜二
岩手医大歯学部	会長	加古	久世
女医会	会長	堀	木信
女医会	副会長	柏	木子

(公務関係)

指導医療官	笠原	義人
国保指導監査専門医	今上	康夫
保健環境健康課嘱託	梅木	邦彦



||||| 大阪歯科大学兵庫県同窓会 |||||

— 第33回会員大会 —



多和城西歯科大学
学長の音頭で乾杯



若者をしのぐ元気の
奥野大歯大同窓会長と
阿部顧問



広がる親睦の輪



ラッキーカードでサービスする村井会長

昭和62年度第1回大阪歯科大学兵庫県同窓会役員会

昭和62年度第1回の大阪歯科大学兵庫県同窓会役員会は、総会にさきがけ6月28日(日)午後1時から兵歯会館5階ホールで開催された。

役員会は志築専務の司会により長浜副会長が、「会員大会をひかえ重要な案件を提出しているので慎重審議いただきたい」と開会のことばを述べた後、塩見副会長を議長に選出、議事録署名人に藍(尼崎)大屋(播磨)の両氏を指名した後、村井会長のあいさつにうつった。

〔村井会長あいさつ要旨〕

3月29日に62年度の予算、会則の変更を実施する総会を開催して、本部同窓会の規則、定款に合わせて改正したが、それにのっとり開催される第1回の総会である。

同窓会の年代構成は変っている。世代交代をするという意味で、役員も17名の方に御退任を願って25名の方に新しく委嘱し40名の役員の交

代を行った。

あいさつの後、志築専務より名簿作成状況について報告があった後、協議にうつった。

〔協議〕

1) 総会開催について

志築専務より総会に提出する会則変更の案件の説明、河合会計担当常任理事より決算の説明があった。

2) 第33回会員大会について

申し込みは約200名程度で、担当分会の参加希望数は約500名である。来年は神戸分会の当番で63年11月5日(土)か、12日(土)に新神戸駅前に63年にオープンするニューオリエンタルホテルで開催する予定である。

以上の協議の後、長浜副会長の閉会のことばで終了した。

学術講演会ご案内

高齢化社会が進む中で無歯顎臨床の症例は増加の傾向にある。

クラウンブリッジに比して経験やコツの要素が多いこのテーマについて理論的な解明を中心としての講演会を最高権威の講師を迎えて開催します。

記

日 時	昭和63年2月13日(土)午後2時
場 所	兵庫県歯科医師会館5階ホール
演 題	「無歯顎の臨床」
講 師	元東京歯科大学教授 河 邊 清 治 氏
主 催	大阪歯科大学兵庫県同窓会

昭和63年8月1日

同窓会員殿

大阪歯科大学兵庫県同窓会

会長 村井俊郎

大阪歯科大学兵庫県同窓会 第34回会員大会ご案内 (新入・新卒歓迎会)

盛夏の候 会員各位におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、同窓会運営発展のためご協力賜り誠に有難うございます。

さて、本年の会員大会は、神戸分会の当番で開催することになりましたので下記のとおりご案内いたします。

つきましては、新入・新卒・会員歓迎も合わせて盛大に催したいと存じますので万障お繰合せのうえご家族ともども多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 昭和63年10月15日(土) 午後 2時 受付
午後 3時 会員大会及び新入・新卒歓迎会
午後 4時 アトラクション
「皆んなで楽しむ歌の夕べ」
兵庫県警察音楽隊
隊長 藤原 智
午後 5時 懇親会
2. 場 所 新神戸オリエンタルホテル(新幹線新神戸駅西側)
神戸市中央区北野町1丁目
TEL (078) 291-1121
3. 参加会費 会員 10,000円
家族 10,000円
4. 申込期日 8月31日必着(同封ハガキにご記入の上お申込み下さい)
5. 払込方法 ・診療報酬払いの方は7月診療分(9月受取分)から差引かせていただきます。
・現金で払込まれる方は8月末日までに兵歯会館内 大歯同窓会宛納入して下さい。

懇親会の席順は各クラス別に配置しますので、クラス会としても出席協力方をお願いします。